

市民協働事業 相互評価シート

1 市民協働事業の概要

事業名称	「令和3年度 NPO 法人オールさこんやまの機能強化」委託	
事業の実施者	団体等	NPO 法人オールさこんやま、NPO 法人横浜プランナーズネットワーク
	行政	横浜市旭区役所区政推進課
事業の目的	旭区とNPO法人オールさこんやまが協働する団地再生の取組として立ち上げた「大学生入居事業」、「まちづくり方針検討会議」、「ちょこっと応援隊」（以下「区との協働事業」という）について、活動の担い手や資金を確保し、地域で自立して運営できるような仕組みづくりをする	
事業の内容	ア 事務局機能強化 イ 大学生入居事業 ウ 「ちょこっと応援隊」の始動・活動支援 エ 新規事業検討 オ 報告書の作成	
役割及び責任分担等	別紙資料参照	
実施期間	令和3年4月28日から令和4年3月31日まで	

記入日	令和 4 年 6 月 10 日
記入者	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人オールさこんやま ・記入責任者 理事長 氏名： 林 重克 連絡先： 045-744-6585
	<ul style="list-style-type: none"> ・団体等名： 特定非営利活動法人横浜プランナーズネットワーク ・記入責任者 氏名： 山路 清貴 連絡先： 045-681-1223
	<ul style="list-style-type: none"> ・部署名： 横浜市旭区役所区政推進課 ・記入責任者 大規模団地再生担当 氏名： 松永、中島 連絡先： 045-954-6027

別紙資料 役割及び責任分担等

事業項目 事業内容	役割		
	甲(NPO 法人オールさこ んやま)の役割	横浜市(旭区)の役割	乙(NPO 法人横浜プラン ナーズネットワーク) の役割
<p>(1) 事務局機能強化</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現行業務の現状把握(仕分け、整理分担等) ・事務局機能強化の取り組みを試行する。 ・事務局のあり方を検討する。検討会議(3回程度)開催 ・「大学生入居事業」「ちょこっと応援隊」「まちづくり方針検討会議」の取り組みを進めることを通じて、事務局機能を強化する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①関係者ヒアリング実施の協力 ②事務局(作業)スペース、会議会場の確保 ③会議関係者の招集、会場確保 ④「大学生入居事業」「ちょこっと応援隊」「新規事業検討」の方針決定ととりまとめ役(理事他)の選出、周知 ⑤事務局員候補者の募集・決定、事務局を試行 ⑥ニュースレター配布 	<ul style="list-style-type: none"> ・甲と乙の連携をサポート ・事業推進上の課題等、協議の場の設定 	<ul style="list-style-type: none"> ①関係者ヒアリングの企画、実施 ②ヒアリング結果の分析、対応策の検討 ③会議資料作成、提案 ④会議運営支援 ⑤事務局の伴走支援 <ul style="list-style-type: none"> ・ニュースレター発行 ・定期発行化の仕組みづくり ・新しい広報のカタチの導入検討 ⑥事務局業務マニュアル作成 ⑦事務局員候補者の募集支援
<p>(2) 大学生入居事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公募条件等を必要に応じて再検討する。 ・次年度の入居学生を公募する。 ・「よこはま夢ファンド」の助成を申請する。 ・別途の財源確保の可能性を追求する。 ・毎月の入居大学生定例会に出席してファシリテートする。 	<ul style="list-style-type: none"> ①当事業の検討チーム会議の開催、会場確保、招集 <ul style="list-style-type: none"> ・公募条件等の見直し ②入居大学生の公募 ③夢ファンド助成申請 ④財源確保策の検討 ⑤大学生事業関係者会議に出席して、課題と展開方策等を共有 ⑥寄附活動に取り組む ⑦サコラボとの連携 ⑧ニュースレター等で広報 ⑨入居大学生の定例会開催、各自の活動内容(時間)を決定する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・大学生事業関係者会議の開催 会場確保、関係者招集、会議の運営、資料配布 ・寄附活動への協力、周知 ・サコラボへの協力 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の取り組みを伴走支援 <ul style="list-style-type: none"> ・当事業の検討チーム会議の開催提案、資料作成、運営 ・入居大学生の公募 ・夢ファンド助成申請 ・財源確保策の検討 ②大学生事業関係者会議に出席して、課題と展開方策等を共有 ③寄附活動への協力 ④サコラボへの協力 ⑤ニュースレター等に記事提供・広報支援 ⑥入居大学生の活動者を特定する。

<p>(3)「ちょこっと応援隊」の始動</p> <ul style="list-style-type: none"> ・受け皿となる仕組みや体制を整備する。 ・取り組みを始動する。 	<p>①当事業の検討チームの発足 メンバーを選出</p> <p>②当事業の検討チームで下記に取り組む</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介ツアーの企画、実施 ・求人票とカレンダーのひな型作成、試行 <p>③ニュースレター等で広報、周知</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・R 元年に実施したアンケート結果や名簿ストックを提供 ・当事業の検討チームの取り組みに協力、周知 	<p>①当事業の検討スケジュールと仕組みを検討</p> <p>②当事業の検討チームの発足支援、運営支援</p> <p>③当事業の検討チームで取り組む下記を伴走支援。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・活動紹介ツアーの企画、実施 ・求人票とカレンダーのひな型作成、試行 <p>④ニュースレター等に記事提供</p>
<p>(4) 新規事業検討</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たな事業導入の可能性を検討する。 <p>(「ほっとさこんやま」の空きスペース及び未利用時間帯の有効活用)</p>	<p>①会議の開催 会場確保、招集 3 回程度</p> <p>②可能性の検討</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・検討協力 	<p>①素材の提供、提案等により検討を支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料作成、提案 ・運営支援
<p>(5) 報告書の作成</p>			<p>①報告書の作成</p>

2 事業実施プロセス相互チェックシート

このチェックシートは、事業実施に伴う、それぞれの段階で、必要なことができていたかどうか、相互にチェックをおこなうシートです。相互の視点からチェックを行い、その後、「2 事業評価相互検証シート」で総合的な評価検証をおこないました。

◎相互チェックシートの評価基準

よくできた	まあまあできた	あまりできなかった	まったくできなかった
A	B	C	D

①事業計画段階

		オール さこんや ま	横浜プラン ナーズネッ トワーク	行政
1	自分たちが達成すべき大きな目的やミッションについてよく話し合うことができましたか。	B	A	A
2	お互いの立場や組織の違いを話し合っよく理解することができましたか。	B	B	A
3	ニーズを把握して共有するとともに、この事業の目標と実施方法を話し合っ決めてことができましたか。	B	B	B
4	実現のためにそれぞれが何をできるかを考え、話し合っ役割分担を決めることができましたか。	A	A	B

②事業実施段階

		オール さこんや ま	横浜プラン ナーズネッ トワーク	行政
1	率直な意見交換のもとに、お互い対等な立場で事業をすすめることができましたか。	A	A	A
2	お互いの強みや得意分野を、どう生かし合えるかを考え、提案しながら取り組むことができましたか。	B	A	A
3	相手に任せっきりにせず、お互いが役割を自覚して積極的に取り組むことができましたか。	B	B	A
4	事業の進捗に応じて、目標、ニーズ、対象、実施方法などをふりかえり、修正しながら取り組むことができましたか。	B	A	B
5	必要に応じ、関連する他の部署や団体などを巻き込みながら事業をすすめることができましたか。	C	A	A
6	事業終了後の見通しについて、話しながら取り組むことができましたか。	B	A	B

(次項あり)

③ふりかえり段階

		オール さこんやま	横浜プランナ ーズネットワ ーク	行政
1	協働することで、単独でおこなうのに比べてどのような効果が得られたか、話し合っ共有できたか。	B	A	B
2	受益者（地域）が満足を得られたかどうかについて、話し合っ確認することができたか。	A	A	A
3	これまでを振り返って、お互いの考えに相違点がなかったかについて話し合い、確認する事ができたか。	A	A	A
4	期待された事業成果を得られることができたか。	C	B	B

3 事業評価相互検証シート

事業実施プロセス相互チェックシートでおこなった結果をもとに、相互で本検証シートを作成しました。

<p>事業の計画づくり (協働して事業計画をつくるにあたり、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)</p>
<p>【共有できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○当年度の取組内容、スケジュール
<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○協働事業の目的、役割分担等に関する各主体間の認識の相違があったこと
<p>事業実施 (協働して事業を実施した結果、お互いに共有できたことや認識に違いがあったこと、今後、改善が必要と思われることはどのようなものですか。)</p>
<p>【共有できたこと】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○各主体の考える事業の課題感、優先事項 ○オールさこんやまの現状の運営体制
<p>【今後改善が必要と思われること】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○円滑なコミュニケーション、話し合いの進め方 ○3者の役割分担の明確化 ○目的を達成するうえでの課題の共有と解決に向けた取組内容の整理
<p>事業の成果 (協働して事業を実施した結果、当初期待された事業効果がどのような成果となりましたか。)</p>
<ul style="list-style-type: none"> ○地域の事務局員が加わり、理事長に集中していた業務量が把握・分散され事務局体制案の検討や業務のマニュアルも作成された。そのことで事務局を試行するための体制が徐々に整備されている ○よこはま夢ファンドの寄付活動が展開され、一定の資金が集まった ○入居大学生の募集活動を実施し、2名の学生が新たに参加することになった ○ちょこっと応援隊の実施の有無や行う場合の方法を整理することができた
<p>自由記入欄</p>
<p>○令和3年度は事務局の試行や大学生入居事業の自立的な運営、ちょこっと応援隊の立ち上げを目指し取り組んだが、途中地域の負担感を踏まえて優先順位の見直し等について話し合いをした。その議論を踏まえて、令和4年度は特にオールさこんやまの経営面での取組を強化し、既存事業や大学生入居事業等を持続的に運営できるような組織体制を目指す事と共に、よこはま夢ファンドをはじめとする資金調達を充実させることとなった。</p>